

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	衝突・衝撃問題小委員会		主 査 名：野中泰二郎 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：竹脇 出
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	超高層建物、エネルギー関連施設、化学プラント、公共性の高い建物などの重要な構造物が自然災害、事故、あるいは人為的攻撃により飛来物の衝突・爆破等の衝撃的な過酷荷重を受けた場合の構造物の耐衝突・耐爆性能の評価法を構築し、有効な防止対策を検討する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	野中泰二郎(京大) 橘英三郎(阪大) 井元勝慶(大林組) 内田直樹(日本溶接協会) 大野友則(防衛大) 河西良幸(前橋工大) 世戸憲治(北海道学園大) 和田章(東京工大) 中山昭夫(福山大) 西田明美(東大) 濱本卓司(武蔵工大) 榎井健(関西大) 上谷宏二(京大) 谷村真二(愛知工大) 南宏一(福山大)		
設置 WG (WG 名：目的)	衝突・衝撃問題小委員会 WG： 衝突・衝撃問題を項目別に分け、具体的な事例や、資料調査を行い、小委員会の活動内容の密度をより高める。		
2005 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： 無	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1.(名称) IB'05 Nagoya 参加者数 約 100 名 (資料名) Proc. of International Symposium on Structures under Impulsive Loading-Transient Phenomena due to Impact and Blast Loading- 本小委員会の委員有志が中心となる IB'05 運営委員会のもとに開催
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初の計画では、本小委員会の主題に関するパネルディスカッションを9月の建築学会大会の場において開催することになっていたが会場の都合で見送ることになり、別途、国際シンポジウムを本小委員会の委員有志が中心となる IB'05 運営委員会のもとに開催し、実質的には当初の活動計画は達成されたものと考えられる。
委員会活動の問題点・課題	近年、自己評価などで大学での学生、院生への教育、研究に関する日常業務(本務)が増大化しつつあり、小委員会の構成メンバーの多くを占める大学教員の委員会出席が企業並みに困難となりつつある。